

錦鯉に人生を捧げた、 庭池造りのプロフェッショナル

(株)京阪水処理開発

今回ご紹介する(株)京阪水処理開発は、鯉が好きだからこそ、鯉が快適に暮らせる池を造ろうと、設計、施工、造園、錦鯉の養殖までをトータルに手掛けています。

そんなこだわりの庭池造りや錦鯉にかかる情熱などについて、話を伺ってきました。



錦鯉の絵画の前で、にこやかな中川章社長

●錦鯉マニアからの出発

(株)京阪水処理開発の代表者は、中川章さん、昭和19年生まれの65歳です。今でも、施工工事の際には先頭に立って動かれる、とても情熱的でエネルギーが豊富な方です。

中川さんは九州のご出身です。ご実家で錦鯉を飼育されており、物心ついたときには錦鯉がいてのが当たり前でした。悠々と泳ぐ錦鯉の姿に惚れこみ、小さな頃から趣味として錦鯉飼育をされていたのです。九州の有名な小川養鯉場で、どんな錦鯉が良い魚なのかと



鯉が描かれた大皿と和やかな仏像2体



大きな伊万里焼の鉢。これも、りっぱな工芸品



「白黒の錦鯉の絵画。紅白が好きな品種とのこと」



大阪枚方市にある本社には、大きな錦鯉の看板が目立つ



いったことから、上手な飼育の仕方などを深く勉強されました。錦鯉の中でも紅白が一番好きで、生粋の錦鯉マニアとして、青春時代を過ごしてこられました。そんな中川さんの錦鯉に対する思いは、座右の銘と言っても良い「錦鯉に対しての情熱は誰にも負けない。自分の人生は錦鯉のための人生である」に如実に現れています。錦鯉を愛し、錦鯉の健康を守り長生きさせ

て、愛魚と共に暮らす喜びをもっとたくさんの人に味わってもらいたい、ということが中川さんの根底にあり、それは池造りにも生かされています。

中川さんが初めて錦鯉のための池を造ったのは弱冠20歳の時。九州から上京し、自分の錦鯉のために市販のブロックを使い、コンクリートで完成させたものだったそうです。大きさは1坪ほどの小さなものでしたが、これがその後、プロとして池造りを含めた総合的な錦鯉ワールド造りと言えはいい



本社・温室内全景。大きなタタキ池群は、3系統に分けてろ過されている



温室内には、ゆっくり鯉を眺めながら談笑できるスペースもある

のでしょうか、トータルプロデュースに勤しむようになったきっかけでもあったのです。

この錦鯉のトータルプロデュースが京阪水処理開発の「ウリ」でもあります。つまり、錦鯉の愛好家でもある中川さんに池造りをお願いすれば、景観だけでなく、中に泳ぐ錦鯉をとりまく水環境も含めて、すべてを相談できるということなのです。これは愛鯉家にとっては、錦鯉のことを第一に考えつつ、景観に合わせた池を施工してもらえと言うことですから、願ったり叶ったりですね。



本社の店舗内には、各サイズのミニ鯉が多数水槽に泳いでいる

●のどかな田園地帯で

京阪水処理開発は大阪府枚方市にあります。京都と大阪、二大都市に挟まれています。会社のある場所はとてのどかな田園地帯で、中川さんは九州から出てこられたとき、自然溢れるこの場所が気に入ったのだそうです。

そして自分の好きな錦鯉を飼育しながら、いつか錦鯉にかかわる仕事ができればなあと思然とした夢を抱きつつ、そのために身を粉にして様々な仕事を手掛けてこられました。そして満を持して昭和48年、京阪錦鯉センター（京阪水

処理開発の母体）を立ち上げられたのです。

それからは、錦鯉をいかにして健康に保つか、いかに長生きさせるかを第一に考えながら、池造りをされてこられました。ご自分が良いと思ったものはすぐに取り入れる、それが中川さんのモットー。今や独自のろ過システムとなったスーパーマリンは、もともと四国のメーカー製のものでした。中川さんはそのろ過性能に惚れこみ、利用しておられたのですが、惜しくもそのメーカーは無くなってしまい、現在はそのノウハウと製作方法を買収した形で、新たに工場と提携し作られたものを、池のろ過システムとして販売・使用されています。



タタキ池の水は、一度この沈澱槽を経由してろ過槽へと送られて行く

観賞池用生物膜式循環ろ過機スーパーマリンの特徴

①生物膜ろ過方式

優れたろ過性能

新しく開発された多孔質セラミック球状ろ材を採用し、支持層の砂には高知で厳選されたものを使用しています。多孔質セラミックは、セラミック表面積・気孔率が高く球状であるため、空隙が均一化しています。生物膜の保持量、微生物保持量が極めて高い、大きな特徴を有したバイオリアクターです。

②耐蝕性に優れています

ろ過機本体はFRP製で頑丈かつ耐蝕性、耐候性に優れています。さらに軽量で搬入、据付設置、施工が容易に可能です。

③操作が簡単

独自の技術で開発したろ材専用攪拌装置は、レバー操作を切り替えるだけで、自動的に水が逆噴し、ろ材を攪拌しながら汚物が排出され完璧なるろ材のリフレッシュができます。またろ材のマットボール化をなくし、長年にわたってろ過能力を維持します。

④故障が少ない

FRP製の本体をはじめ高品質の部品を厳選、ろ材洗浄攪拌装置はすべてステンレス SUS 304 を使用、メンテナンス費用を低減するなど高信頼性を実現、長寿命を可能にしました。

⑤コンパクトで景観にマッチしたデザイン

バルブ制御部に五方バルブを採用し、最小限の配管取り回しでスペースを実現しました。落ち着いたデザイン・カラーは周りの環境に違和感なく設置できます。



本社温室の奥には階段状の滝と、両サイドに大型のスーパーマリンが設置されている



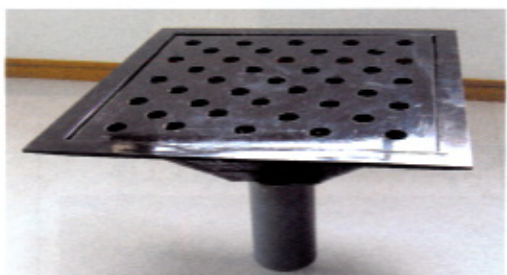
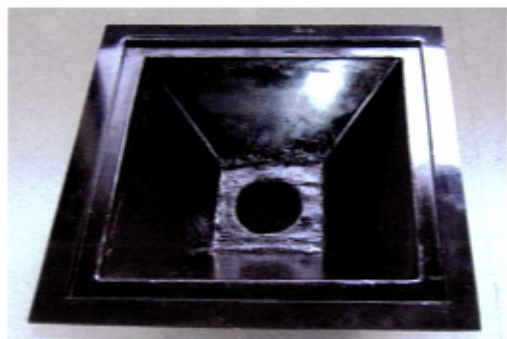
イキイキと泳ぎ回る美しい錦鯉たち

●信頼と実績ある庭池造り

このように京阪水処理開発はスタートしたわけですが、中川さんは熱烈的な錦鯉の愛好家でもありませんから、とにかくまず第一に考えるのは、錦鯉の健康と快適な生活です。そのために必要となるのが、どのようにしたら錦鯉が快適に暮らせる池になるのか、どのようなものが良いのか、といったことを的確に判断し、設計・施工していくことです。

そのすべての工程、そしてお客様様によっては池で飼育する錦鯉の調達まで、すべて中川さん自身が目を光らせ、工事現場でも率先してスタッフたちと一緒に動いておられます。「錦鯉を愛してい

飼育槽から沈澱槽に水を送るための排水用オリジナル器具。
水流れを無くすために開発された



るから、どんなことも苦勞と思わないんですよ」と中川さんは軽くおっしゃいますが、そのバイタリティーには頭が下がり、驚かされます。

大変なこと、苦勞するところはないのですかとしつこく食い下がると、苦勞はないのだけれど、水漏れしては池にならないから、水漏れしないようにパイプとコンクリートの接続部分、池のキワを一体化するのに気を遣うのだそうです。しかし、水漏れしないのが池として当たり前のことだから、気を遣うのも当たり前と、やはりさらりと流されてしまいました。

仕事も自分の大好

きな錦鯉飼育の趣味の延長だと考えているので、仕事として錦鯉に関われることはとても幸せなこと、毎日楽しく仕事させてもらっているのだそうです。

池造りは最初が肝心です。一度造ったからそう簡単に補修・修理はできません。

さらに、錦鯉を飼育するわけですから、錦鯉のための環境・水を整えてやらねばなりません。一件一件、その土地柄、池を造る場所などを考慮し、どのような魚を飼育するのか、といったことも含めて、お客様と綿密な打ち合わせをしたうえで、設計・施工に取り掛かるというのですから、本当に錦鯉のための池造りをされていると言えます。

また、池の水の調子が悪い、例えばアオコが発生して困っている、今ある池を錦鯉が飼育できるような池に改修して欲しい、水深を深くしてというような、細部に渡る細かな要望にも応えてくれます。さらには、

施工中そこでもともと飼育されていた錦鯉を、工事期間中に中川さんがやっている養魚場、京阪錦鯉センターの池で一時預かりもしてくれまして、錦鯉の引越しがあるときには、専門の錦鯉輸送専門車などで引き取りから輸送、搬入まで引き受けてくれるといっています。なんとも心強い味方です。

そのように地道に活動され、真面目に仕事をこなし、確かな信頼を得てきましたので、大手ゼネコンや設計事務所などからも仕事の依頼が来るそうです。建設業者として大阪府の許可も取り、造園・建設業者などとも連携して、錦鯉のための庭池造りを、精力的に行っています。



小型のろ過装置。小さなタタキ池にはこれでも充分

田口支店全景。こちらでは、錦鯉の他に金魚も取り扱っている



田口支店に並ぶ、多数の金魚水槽群

●夢は広がる

中川さんは、池造りだけではなく、その池に泳ぐ錦鯉もご自分が納得する健康で良い物を、と考えられ、15年ほど前から本格的に錦



田口支店近くにある本覚寺には、最近竣工したご覧のような庭池がある。大型のスーパーマリン2台で、浄化は万全



コンクリート製のタキ池の施工工程



鯉の養殖にも取り組まれてきました。最初の3、4年は、水作りの加減がわからず、手間を掛け過ぎたり、気を遣い過ぎて失敗したことも多かったそうです。

試行錯誤の末、たどり着いたのは手を掛け過ぎないこと。基本の水作りさえしつかりしておけば、あとはろ過機が掃除をしてくれ、浄化はバクテリアが行ってくれます。病気対策についても、水作りの徹底がまず第一なのだそうです。

国内には第一、第二養魚場を持ち、第一養魚場は三町歩、第二養魚場は1600坪と、両方あわせると一万坪を超える敷地で、すべて自家産の錦鯉を養殖されています。

す。また、平成19年には、中国への進出を果たしました。中川さんご自身が中国まで足を運び、設計から池造りまで立ち会ったのだそうです。そして完成した池では、京阪錦鯉センターで産まれた錦鯉たちも元気に泳いでいると言います。

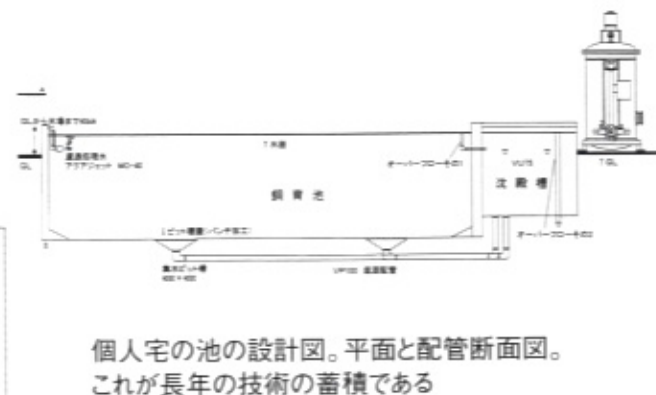
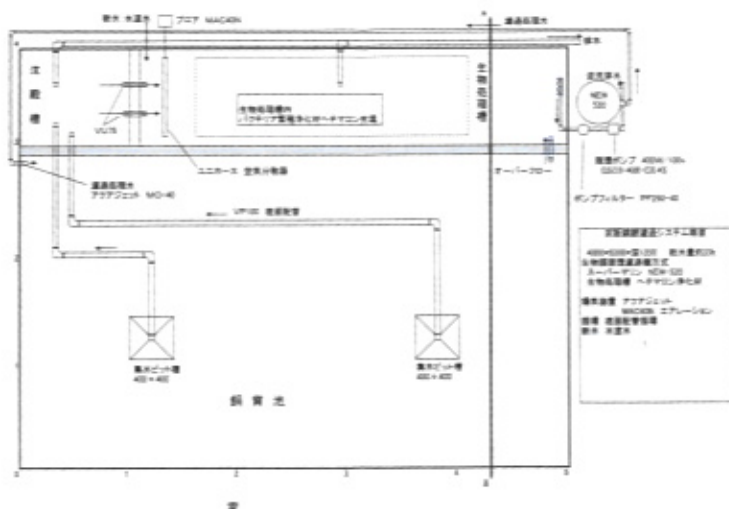
もっとたくさんの方に、生きた宝石である錦鯉の美しさを知ってもらいたい、錦鯉を見て癒されて欲しい、楽しんで欲しいというのが、中川さんの願いです。そのために自分ができることは、公園などに錦鯉のいる鑑賞池を造り、そこに自分の作った錦鯉を泳がせること。これからも錦鯉が美しく映え、健康で長生きできる池を造っていききたい、ですから、

生産者の皆さんは健康で美しい錦鯉を作る努力を忘れず、専門店の皆さんは錦鯉のために、錦鯉を第一に考えて、大切に取り扱って欲しい、とのことでした。

今後も、日本各地に、世界各地に錦鯉のための、棲み易い美しい池を造っていただきたいと願うものです。



コンクリート製のひょうたん池の工程



個人宅の池の設計図。平面と配管断面図。
これが長年の技術の蓄積である

主な工事施工例

- 特別養護老人ホームみらい 日本庭園錦鯉鑑賞池設計施工・錦鯉納入
- 清荒神清澄寺資料館新築工事に伴う錦鯉一時預かり
- 生活訓練施設モーツァルト七瀬川つつみ 和風鑑賞池設計施工
- 医療法人 錦鯉鑑賞池清掃・錦鯉一時預かり・ろ過設備・錦鯉納入
- 大阪市内電力会社 錦鯉鑑賞池清掃・錦鯉一時預かり・ろ過設備
- 堺市内 錦鯉鑑賞池清掃・錦鯉一時預かり・ろ過設備
- 阪急夙川駅延長工事における構内飼育錦鯉引越し・輸送
- 中国北京市内 錦鯉養殖販売池設計施工・ろ過設備・錦鯉納入
- 旅館内 鑑賞池錦鯉治療・池清掃釣り堀池 ろ過設備
- 料亭 錦鯉鑑賞池ろ過設備・錦鯉納入
- 能勢カントリークラブ 錦鯉鑑賞池改修・ろ過設備・錦鯉納入
- 超光寺 錦鯉鑑賞池改修・ろ過設備・錦鯉一時預かり
- 枚方市 S 氏邸 錦鯉飼育池設計施工・ろ過設備・錦鯉納入
- 奈良市 M 氏邸 日本庭園錦鯉鑑賞池改修・ろ過設備・錦鯉納入
- 他、各地の錦鯉愛好家宅の多数の庭池造りの実績があります。

建設業の許可票

商号又は名称	株式会社 京阪水処理開発
代表者の氏名	代表取締役 中川 章
一般建設業又は特定建設業の別	許可を受けた建設業
許可番号	許可年月日
一般建設業	造園工事業
この店舗で営業している建設業	造園工事業



純和風の池にもバラエティーがある



石組みの美しい日本庭園には池が良く似合う



錦鯉には、大きな滝のある池がマッチする